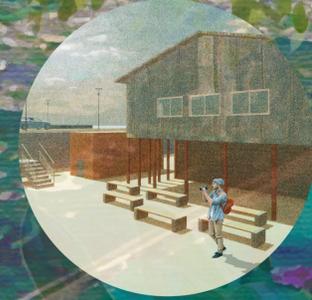


風景を繋ぎ、人を繋ぐ

- 宮崎市の豊かな自然と空き家改修が織りなす地域発展の提案 -

宮崎市の東部は、日向灘に面し、その大部分に海岸森林を有する阿波岐原森林公園が広がっている。公園内はリゾート開発により一大観光拠点となる一方で、昔ながらの田園風景のような豊かな景観が損なわれて行った。これに対し、地域の歴史・文化が集う市民の森に点在する万葉碑で詠われる植物を媒介とし、宮崎市の風景と人々をつないでいく。山崎街道沿いに広がる空間から、さらなる地域活性とこの街にしかない風景が広がるような将来像を提案します。



00. 宮崎市について

01. 花ある街づくりについて



宮崎市は宮崎県の南東に位置する県庁所在地、中核都市である。豊かな自然と温暖な気候を活かした農畜産業が盛んである。

宮崎市には亜熱帯性の街路樹や、様々な種類の花など緑に恵まれた街である。これらから生まれる景観をより美しくする取り組みとして市は、まちなかフラワーパーク事業などの地域住民参加型を多く行っている。

02. 阿波岐原森林公園

03. 山崎街道について

04. 穂人の店について

05. 対象敷地周辺の課題について



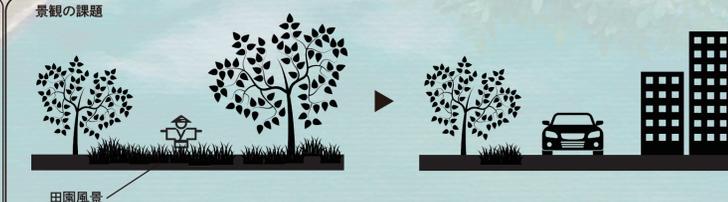
風光明媚な白砂青松の地として有名で、公園は海沿いに南北に長く、県管理のパークウェイは全長4.2kmである。パークウェイ沿いや松林内に遊歩道も整備され、サイクリングや散歩などでも親しまれている。宮崎を代表する観光、運動、レクリエーション施設が整備されている。また、公園内の「市民の森」には自生する植物を詠った万葉歌碑が置かれていて、花のまちづくりの推進拠点である。



阿波岐原森林公園が昭和63年県内初のリゾート施設認定されてから、大きな観光産業となった。山崎街道は阿波岐原森林公園の大きな南北を結ぶ重要な道路として現在も使われている。



穂人プロジェクトとは阿波岐原森林公園を周辺とする穂地域域では地域に存在する資源を活用し、地域の活性化を図り、絆社会づくりに貢献することを目的としたものである。「穂人の店」は、地域コミュニティスペースとして位置づけ、地域のひとものことを繋げる空間を提供してきている。



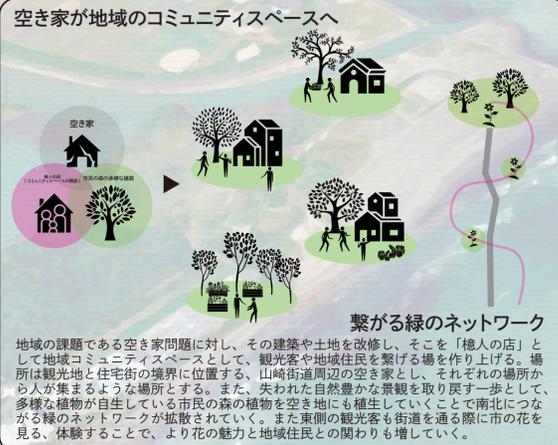
宮崎市には田園風景を中心とした、自然豊かな風景が存在していたが、近年の宮崎市の観光産業の発展や、住宅の増加などにより、宮崎市が持っていた自然豊かな景観が失われつつある。また、空き家問題や少子高齢化問題などにより、観光化のため整備されたインフラや施設を見直そうという動きも起っている。



図1 宮崎市の年齢3区分別の人口推移・人口推計
図3 宮崎市の空き家数推移グラフ(2003-2018年)

06. 提案

07. 長期計画



08. 事業スキーム

